



エコが千代田の自慢です！

# エコチヨ

Vol.9 2019 春号

<i>Contents</i>	p. 2-3	CESを知ろう	
	p. 4-5	大都会の中のマイクロワールドを観察しよう!	
	p. 6	「エコ&サイクルフェア2018/千代田のエコ自慢」開催、CES養蜂プロジェクトの活動報告	
	p. 7	東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた暑さ対策	千代田区環境まちづくり部環境政策課
	p. 8-9	助成内容拡充 この機会に省エネ改修を	(一社)千代田エコシステム推進協議会
	p. 10-11	2019年度上半期イベントカレンダー 他	[春・秋 年2回発行]



## 私たちの身近なエコを推進する、 それがCES(シーイーエス)です。

### CESって 何?

2008年に施行された「千代田区地球温暖化対策条例」に基づき構築された千代田区独自の環境マネジメントシステムです。システム名の「千代田エコシステム(Chiyoda Eco System)」の頭文字をとり、CESの略称で呼ばれています。国際規格である「ISO14001」の取得に比べ手続きが簡単で、運用経費も抑えられるメリットがあり、千代田区に関わるすべての人々が取り組みやすいシステムとして考案されました。



#### 千代田区地球温暖化対策条例 第13条

(環境マネジメントシステム)

- 事業者は、千代田エコシステムなど環境マネジメントシステムの導入に努めるものとします。
- 区は、区民や事業者へ千代田エコシステムの普及を促します。
- 区民は、千代田エコシステムへの参加に努めるものとします。

#### 環境マネジメントシステムとは…

事業者が経営方針で定めた環境方針や目標の達成に向けて取り組む「環境マネジメント」(環境管理)を進めるための、工場や事業所における体制や手続きなど一連の仕組みのこと。

### CESって 何をするの?

ISO14001と同様にPlan(計画の策定)→Do(計画の実施)→Check(取組み状況の点検)→Action(全体の評価と改善)→Plan(計画の策定)…という<PDCAサイクル>に沿って環境配慮活動を実施していただきます。

企業・教育機関・病院・各種団体などが対象のクラスⅢでは、CES推進協議会に所属する知識と経験が豊富な主任監査員が年に1回現地での監査を行います。その結果を元に認証委員会で活動内容が妥当であるかどうかの審査が行われ、認定された施設には「CESクラスⅢ認証書」が発行されます。



# ECO



## どんなメリット があるの？

### コストの削減・業務の効率化

ISO14001に比べて手続きや活動内容が簡略化されているため、導入～運用にかかる作業工数が抑えられます。また、運用に必要な費用も削減できるため経済的です。

千代田区で実施している商工融資あっせん制度の優遇措置対象となり、低利融資を受けられる制度や、CO<sub>2</sub>排出量の削減率に応じて助成金が交付される低炭素建築物助成制度などを利用することもできます。

※制度の利用には一定の条件を満たす必要があります。詳しくは千代田エコシステム推進協議会へお問い合わせください。



### 対外的イメージの向上

CES(クラスⅢ)の認証事業所には、認証書を発行します。

その中でも特に優秀な活動をしている施設については当協議会より表彰を行い、記念品を贈呈いたします。広報誌等にも掲載され、積極的に環境に配慮している組織であることがアピールでき、顧客からの支持を得られるなど、ビジネスチャンスにつながります。

### 環境意識の向上

CESの教育、研修および日常の取り組みなどを通して、組織内の環境意識やモラルの向上が図れます。



子どもゆめ基金助成事業

# 大都会の中の ミクロワールドを観察しよう

11月11日(日)秋の巻／1月26日(土)初春の巻

## 秋の巻

8月の『夏の巻』に続き『秋の巻』を、葛西臨海・環境教育フォーラムの特別協力を得て、区内在住の親子を対象に、日比谷図書文化館と日比谷公園で開催しました。

当日は、前日の雨も上がり、過ごしやすい秋晴れの中、子ども17名、保護者14名にご参加いただきました。この日のテーマは「ミクロの友達(苔)を探しに行こう!」です。

まずは日比谷図書文化館の小ホールにて、当協議会泉崎事務局長の挨拶と、講師の高橋先生からこの日の内容の説明がありました。その後に苔の専門家の池田先生から、苔も植物であること、でも普通の植物とは異なっている点がたくさんあるということ、クイズを用いて説明がありました。

午前は日比谷公園に出て観察です。スマートフォン・タブレット端末に顕微鏡アタッチメント(スマホ顕微鏡)を装着し、使い方やどのように撮影したらいいかを練習した後、実際にスマホ顕微鏡を使って公園内の苔を観察しました。いつもはほとんど気にしない苔ですが、探してみると実に様々な場所に生えていることにみんな驚いていました。

撮影後、日比谷図書文化館に戻り、自分のお気に入りの1枚とその理由(なぜそれを選んだのか、どんな触り心地だったかなど)を、プロジェクターで投影して発表してもらいました。

午後は作品づくりです。「もし自分の頭に苔が生えてきたら」をテーマに、公園で見つけた苔がどのようなところに生えていたのか、どんな生え方をしていたのか、どんな形だったか、を思い出し、頭に被れるように紙で作った土台を石や地面に見立て、その上に苔の写真等を重ねていきます。

工作は基本的に子どもが主体で行いますが、保護者の方々には、テーブルの上に、苔の生えていそうな「木」「石」「土」を3班に分かれて作ってもらいました。大変に高いクオリティで講師の先生方も驚いていました。

いよいよ発表です。保護者の方々が作ってくれた「木」「石」「土」のどこに自分の頭が生えているのかを、ひとりずつ発表してもらいました。

## 初春の巻

3回目となった最終回の『初春の巻』も、引き続き葛西臨海・環境教育フォーラムの特別協力を得て、区内在住の親子を対象に、千代田区役所内会議室と北の丸公園に会場を移して開催しました。

当日は、多少風が吹いていましたが冬晴れの中、子ども19名、保護者13名にご参加いただきました。最終回のテーマは「ミクロの世界に生き物を探しに行こう!」です。

はじめに千代田区役所内会議室にて当協議会事務局長の挨拶と講師の先生方の紹介がありました。今回は、観察会場で何を重点的に観察するかによって「水の中の生き物」「コケ・キノコ」「植物」の3チーム





に分かれます。分かれたチームには、それぞれの担当講師の先生からどんなチームなのか、どんな生き物が見られそうかを説明してもらいます。

※実際には自分のチームの生き物だけではなく、ほかの2つのチームの生き物などについても、先生からの説明がありました。

それぞれのチームのみんなが仲良く観察できるように、簡単な連想ゲームで場をほぐしたところで、観察のメインアイテムであるスマホ顕微鏡の使い方を学びます。

その後、北の丸公園に移動し、チームごとに観察を開始です。

### 【水の中の生き物チーム】

環境省から特別に許可を受けて園内の池から水を採集し、肉眼で動くものがあるかどうかを確認してから、スマホ顕微鏡で水中のプランクトンを観察しました。

肉眼では最初は何も見えませんが、スマホ顕微鏡を通して見ると実はものすごくたくさんの生き物が動いていることがわかってみんな驚いていました。このチームはプランクトン学者の石丸隆先生が特別ゲストとして参加してくださいました。

見つかったプランクトンは、カイミジンコ・アオミドロ・ワムシ・クンショウモ・ノープリウス・ソコムジンコなど。

### 【コケ・キノコチーム】

コケは1年を通じて緑色をしているので、初春とはいえまだまだ寒いこの時期でもしっかり観察できるのが特徴です。ただし、乾燥しているため、いろいろなところにへばりついているコケの多くがカラカラになっているので、霧吹きで水を吹きかけて広げて観察します。

見つかったのは、サヤゴケ・ツヤゴケ・スエヒロタケ・ヤケイロタケなど。

### 【植物チーム】

観察の主な対象は木の皮の裏にいる虫たちです。ケヤキ、クロガネモチ、ハマヒサカキのような固い皮の木は、その皮をめくるとたくさんの虫たちがいます。

足下の落ち葉めくってみると、寒い季節ですがたくさんの昆虫が見つかりました。

見つかったのは、テントウムシ・チャタテムシ・コナジラミ・ササグモ・トビムシ・アカスジキンカメムシ・チャツゲコナシジミなど。

お昼休みをはさんで会議室に戻り、3つのチームからそれぞれ、公園のどこで見つけたかや、[食べる]と[食べられる]、[住む]と[住まれる]、など関係しあう2つの生き物を挙げて発表してもらいました。

午後のアートプログラムのメイン講師である岩田先生から、生き物同士の関係をつないでくれる「と」(andの意)をつくる説明がありました。どのように関係しあっているかを一筆書きの「と」という文字に仮託して、それをアートで表現します。

子どもたちが「と」を作っている間に、保護者の方々にはその「と」が見つかった公園を再現してもらいました。



できあがった「と」を公園の上に配置して完成です。最後はラシャ紙の額縁に飾って家に持ち帰ってもらいました。



講師(「秋の巻」「初春の巻」共通 敬称略)

池田 英彦：日本蘚苔類学会会員

岩田ともこ：アーティスト

佐々木知幸：樹木医

高橋 麻美：科学コミュニケーター  
JAMSTEC(海洋開発研究機構)

宮嶋 隆行：葛西臨海・環境教育フォーラム

特別ゲスト

石丸 隆：東京海洋大学名誉教授(初春の巻のみ)

協力：東邦大学ボランティア部のみなさん

## 12月1日(土) 「エコ&サイクルフェア2018/ 千代田のエコ自慢」開催

毎年ご好評をいただいている千代田区との共催イベント「エコ&サイクルフェア2018/千代田のエコ自慢」を開催いたしました。

今年も多くの方にご来場いただき、「リメイク着物を着てのファッションショー」や、「エコで災害時に役立つカッター折り」「廃材活用のアロマフラワー作り」「生ハーブ石鹸作り」「毛糸でX'masオーナメント作り」などのワークショップが行われ、恒例の「子ども服交換会」「CES環境クイズ」では、楽しみながら環境に触れていただきました。

そのほか「CES養蜂プロジェクトの紹介」「地中熱について学ぼう」「フィルム剥がしてリサイクル」「某大学独自の環境マネジメントシステム」「食品ロス削減のエコかるた」など様々な展示ブースを出展し、多くの来場者に関心をお持ちいただきました。



▲共立女子大学によるリメイクファッションショー



▲ワークショップ・展示ブースの様子

## CES養蜂プロジェクトの 活動報告

12月9日(土)9時からお昼まで、区立富士見区民館調理室で、養蜂ボランティアの有志の方々にお集まりいただき、今までに採取したハチミツを小瓶に詰め替える作業を行いました。小瓶と蓋を煮沸消毒して、冷えて固くなったハチミツを温めて柔らかくしてから計量カップに移しました。手作業で小瓶に流し込み、オリジナルのラベルシールを貼り、200個ほど作りました。小瓶に詰めたハチミツは、会員の方やお世話になった方々にお配りいたしました。

午後は、当協議会養蜂担当の松沢友紀理事による、1年間を振り返っての養蜂講習会を開催いたしました。また新年度以降の活動方針についても説明を行い、出席した会員の方々からご意見・ご要望も寄せていただきました。



▲ハチミツ瓶詰め作業風景



▲養蜂講習会

## 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて 暑さ対策を行っています

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会まで残り500日足らずとなりました。昨年の夏は記録的な猛暑であったことも皆さんの記憶に残っているのではないのでしょうか。

区では、ヒートアイランド現象の緩和や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策として、クールスポットの創出を推進

しています。

区は、駅前や公園にドライ型ミストを設置するとともに、区内事業者がドライ型ミストなどを設置する費用に対しても助成を行っています。多くの方が通る場所へのドライ型ミストの設置を検討されている方は、早めにご相談ください。

### 【設置例】



秋葉原UDX



芳林公園



有楽町駅前広場

### 利用者のコメント

- ・涼しくて気持ちいい。
- ・たくさんあった方が良い。
- ・熱中症予防になると思う。 など

### ■ドライ型ミストとは

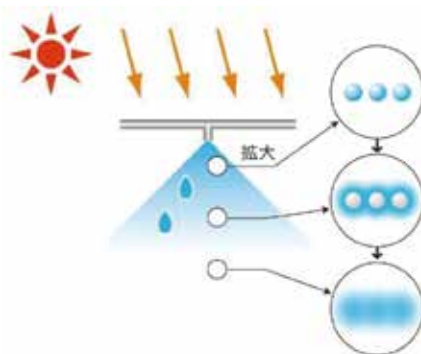
- ・ノズルから噴霧される微細な霧状水滴の気化熱を利用した外気冷却システム
- ・平均で2℃～3℃程度の気温低減効果がある

### ■ドライ型ミスト設置に対する助成(千代田区)

- ・助成率：対象経費の100%
- ・上限額：1,000 万円

詳細は  で検索

出典：環境省「まちなかの暑さ対策ガイドライン」



## 助成内容拡充 この機会に省エネ改修を

区では、住宅やマンション共用部、事業所ビル等における省エネルギー改修等を進める方へ費用の一部を助成しています。

平成31年度は、CO<sub>2</sub>排出量の削減効果が高いLED照明への改修を進めてもらうため、助成率を20%から30%に増やしました。この機会にぜひご利用ください。

### ■平成31年度からの拡充内容

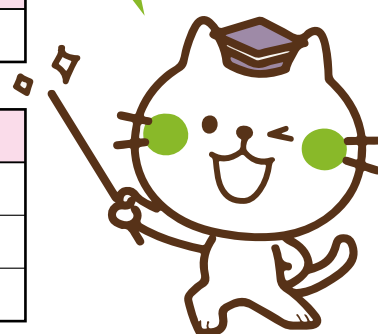
#### ●LED照明の助成率の拡充

	平成30年度	→	平成31年度
助成内容	20%		30%


#### ●助成対象別上限合計額の拡充

	平成30年度	→	平成31年度
住宅	50万円		75万円
マンション共用部	100～300万円		150～450万円
事業所ビル	100万円		150万円

制度を利用して  
省エネ化を進めよう！





### ■平成31年度の助成内容

助成対象	助成項目	助成内容(税抜)※1	上限合計額(税抜)※2	
住宅	LED照明(施工業者が行うもの)	対象経費の30%	75万円 	
	太陽光発電システム	対象経費の20%		
	蓄電システム			
	燃料電池システム(エネファーム)			
	窓断熱対策(二重窓・複層ガラス)			
	高効率ガス給湯器(潜熱回収型)			3万円/台
マンション共用部	LED照明	対象経費の30%	①100戸以下: 150万円 ②101～200戸: 300万円 ③201戸以上: 450万円	
	空調	対象経費の20%		
事業所ビル	省エネルギー診断結果に基づく設備改修※3	LED照明	対象経費の30%	150万円
		窓断熱対策	対象経費の20%	
		太陽光発電システム		
		空調		
		エネルギー管理システム		
		人感センサーシステム		
高効率変圧器				

※1 助成金の額は千円未満を切り捨てます。 ※2 マンション共用部の上限額は、規模(総戸数)に応じて異なります。 ※3 東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)による省エネルギー診断の受診が要件となります。 ※4 対象要件や手続きの流れ等は区HPをご覧ください。

詳細は

 [千代田区省エネ改修助成](#)  で検索

お問い合わせ

千代田区環境政策課





## LED照明 どうしておすすめるの？

都内の家庭が1年間に使う電気使用量の中で、最も多くの割合を占める家電製品は、なんと言っても「照明」です。そのため、従来の白熱灯や蛍光灯をLED照明に替えるだけで、大きな省エネ効果が得られます。皆さんもこの機会にLED照明に替えてみませんか？

### 特長① 省エネ

白熱電球(54W)が4個ついた照明器具を、LED電球(8W)に交換し、1日8時間使用した場合

1年間で

約537kWhの省エネ！  
電気代は年間約14,000円お得！

### 特長② 長寿命

白熱電球(54W)  
1,000時間

40倍



LED電球(8W)  
40,000時間

蛍光灯(12W)  
6,000時間

6倍以上

LED電球

LED照明は価格が高いのでは…？  
でも電気代と合わせて考えるとお得！

ランプ交換の手間が省ける！

### 特長③ オン・オフの繰り返しに強い

蛍光灯はオン・オフのたびに寿命が短くなりますが、LED照明は頻繁にオン・オフを繰り返しても寿命に影響しません。

### 特長④ スイッチオンですぐに明るい

電球形蛍光灯はスイッチを入れると徐々に明るくなりますが、LED照明はすぐに明るくなります。

### 特長⑤ 虫が寄り付きにくい

LED照明は紫外線をほとんど含まないので、虫が集まりにくい照明です。

出典：家庭の省エネハンドブック2018(東京都)

## LED照明への改修に対する助成 申請の注意点

### その① 工事前に申請すること

区のHPで申請書類を確認し、必ず工事前に区の窓口へ提出してください。

### その② 要件をチェック

- LED照明への改修は、施工業者が行うこと
- 電気用品安全法によるPSE認証を取得していること
- 直管型LED照明は、照明器具全体(ランプを含む)の取り換えを行うものであって、照明器具の一部を改修・改造したものでないこと
- LED照明からLED照明への改修でないこと
- 非常灯及び誘導灯のLED照明は、常時点灯型であること

### その③ 対象経費

対象経費は、機器本体と改修工事にかかった費用です。改修前の機器の廃棄費用等は対象外ですので、ご注意ください。

※事業所ビルの場合、クール・ネット東京が実施する無料の省エネルギー診断の受診が必要です。



## 優れた取り組みを表彰しました！

### 温暖化配慮行動計画書制度

区内の事業所が取り組んでいる「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの温暖化配慮行動について、優良な取り組みを表彰しました。

- 最優秀賞 三井住友海上火災保険株式会社
- 優秀賞 株式会社そごう・西武
- 環境配慮賞 三幸株式会社
- 特別賞 三菱地所株式会社



### 生物多様性大賞

生物多様性の保全に関する優れた活動を表彰しました。

生きものが好きというあなた、緑化や観察会に取り組んでいる企業の皆さん、今年も6月より募集を開始しますので、気軽にご応募ください。

- 入賞 田村義晴さん
- 入賞 東京ステーションシティ運営協議会・株式会社鉄道会館



## 千代田の環境冊子

### 千代田区生きものさがし2019



▲2019年度版ガイド

生きものさがしガイドには、生きもの紹介と発見できる場所が掲載されています。

そのヒントを頼りに区内の自然にふれながら生きものと親しみましょう。発見した生きものはレポートとして送ってください。

- 期間：6月1日～10月31日
- 探す生きもの：  
千代田区内の生きもの
- レポート提出期限：  
11月15日

### 千代田エコめぐりガイド



▲前号表紙

千代田区内にある環境に配慮したエコな施設やユニークな取り組みを、マップ形式で紹介するハンディサイズのガイドです。

大学生が環境共生への取り組みをまとめた「ecoレポート」も掲載します。自分だけのツアー「Myエコツアーレポート」を提出した方には、エコグッズを差し上げます。

- 発行予定日：7月5日
- 配布場所：区有施設

### 地球環境学習のチャレンジ集



▲前号表紙

夏休みを利用して環境学習と環境チャレンジに取り組む学習用の冊子です。

- 発行予定日：7月上旬
- 対象：区内在住・在学の小学生（区立小学校2・4年生には、学校を通じて全員に配布します）
- 環境チャレンジ：  
「地球温暖化」「生物多様性」「くらしとごみ(資源)・くらしのなかの水」の3つのチャレンジから一つを選んで「取り組みシート」を提出した方には、素敵な参加賞を差し上げます。
- 提出期限：9月30日(予定)

## 2019年度上半期イベントカレンダー

### みどりとふれあうフェスティバル

みどりの恵みや木のぬくもりを「見て」「ふれて」「食べて」感じるイベントです。区も日比谷公園内にブースを出展します。

日 時：5月11日(土)11:00～17:00  
5月12日(日)10:00～16:00

会 場：日比谷公園

参加方法：直接会場へお越しください。

お問い合わせ：みどりの感謝祭運営事務局

HP <http://midorinokanshasai.com>

電話 03-3719-4805

### 「ちよだ・つま恋の森づくり」植樹ツアー

つま恋村で植樹体験や自然散策を行います。

日 程：5月25日(土)～26日(日)(1泊2日)

場 所：群馬県つま恋村

参加方法：詳しくは、広報千代田4月5日号または区のHPをご覧ください。

### ちよだ環境まつり

6月の環境月間に合わせて、環境問題やごみ減量・リサイクルについて、子どもから大人まで楽しく学べる参加体験型のイベントです。

日 時：6月7日(金)10:00～15:00

会 場：区役所1階区民ホール 他

参加方法：直接会場へお越しください。

### ゴーヤの苗などの無料配布

区民や事業者の皆さんにゴーヤの苗などを配布します。

日程	会場	数量
5月30日(木)	魏町出張所	50セット
5月31日(金)	和泉橋出張所	40セット
6月 1日(土)	区役所401会議室	100セット
6月 3日(月)	神田公園出張所	30セット
6月 4日(火)	神保町出張所	40セット
6月 5日(水)	富士見出張所	40セット
6月 6日(木)	万世橋出張所	30セット
6月 7日(金)	区民ホール (ちよだ環境まつり会場内)	130セット

時 間：10:00～12:00(先着順)

6月7日のみ15:00まで

参加方法：直接会場へお越しください。

### 環境月間講演会

プロ・ナチュラリストの佐々木洋さんをお招きして、講演会を行います。



日 時：6月8日(土)

13:30～15:30

会 場：区役所1階区民ホール

参加方法：詳しくは、広報千代田4月20日号または区のHPをご覧ください。

### 生きものさがし観察会、セミ羽化観察会

子どもたちに大人気の観察会です。詳しくは、広報千代田7月5日号または区のHPをご覧ください。



開催予定：7月、8月

会 場：区内の公園

### 区内一斉打ち水

区では8月を「打ち水月間」とし、8月1日に区内全域で一斉打ち水を行います。

日 時：8月1日(木)16:30～(雨天順延)

会 場：区内各所

用具貸出：無料で打ち水の用具を貸し出します。

電話・FAX・メールで環境政策課事業推進係までお申し込みください。

お問い合わせ **環境政策課事業推進係**

電話：03-5211-4253 FAX：03-3264-8956 E-mail：kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp

千代田区HP <http://www.city.chiyoda.lg.jp>

# (一社)千代田エコシステム推進協議会の活動に参加してCO<sub>2</sub>削減に取り組みませんか?



(一社)千代田エコシステム推進協議会では、区に関わる人や組織が取り組みやすい環境マネジメントシステム「千代田エコシステム (CES)」の普及・啓発に努めています。  で検索!

**参加する**

CO<sub>2</sub>削減について学び、考えていただくための各種イベントや講座に参加する

**クラスⅢを導入する**

千代田区独自の環境マネジメントシステム(クラスⅢ)へ参加し、監査と認証を受ける

**会員になる**

(一社)千代田エコシステム推進協議会の活動を支え、一緒に運営する会員になる

**登録会員になって情報を受け取る。**

\*登録会員の会費は無料です。

メールまたはFAXにてご案内をお送りします。お名前・ご住所・ご連絡先(メールアドレスまたはFAX番号)を明記の上、下記までご連絡ください。

mail : info@chiyoda-ces.jp  
FAX : 03-3221-3405

ISO14001 よりも安価で簡易に運用できる環境マネジメントシステムです。業務の効率化やコスト削減効果が期待できるうえ、千代田区の各種優遇制度も利用可能になります。監査料 4万円～。お見積り等、お気軽にご相談ください!

TEL : 03-5211-5085  
mail : info@chiyoda-ces.jp

**会員募集中です!**

区分	正会員	賛助会員
教育機関	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円以上)	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円未満)	20,000円	10,000円
上記以外の団体	10,000円	5,000円
個人	2,000円	1,000円

**■ 会員** (2019年4月時点、敬称略・順不同) .....

**■ 企業** 三菱地所株式会社、株式会社大塚商会、東京電力パワーグリッド株式会社銀座支社、東京ガス株式会社中央支店、東洋美術印刷株式会社、株式会社東畑建築事務所、前田建設工業株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、徳和FPカレント、株式会社ユニパック、株式会社林事務所 **■ 教育機関** 学校法人日本歯科大学、学校法人法政大学、学校法人専修大学、学校法人明治大学、学校法人大妻学院、学校法人二松学舎、学校法人東京家政学院、学校法人共立女子学園 **■ 団体** 東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、千代田区連合町会長協議会、公益財団法人まちみらい千代田、2×3スリーレッグ、千代田区商店街振興組合連合会、神田駅西口商店街振興組合、ちよだ@森の配達人、千代田区 **■ 個人** 95名

## (一社)千代田エコシステム推進協議会

『エコチヨ』へのご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

千代田区環境まちづくり部環境政策課  
住所: 〒102-8688  
千代田区九段南1-2-1千代田区役所5階  
電話: 03-5211-4255(企画調査係)  
FAX: 03-3264-8956  
メール: kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp



(一社)千代田エコシステム推進協議会  
住所: 〒102-8688  
千代田区九段南1-2-1千代田区役所5階  
電話: 03-5211-5085  
FAX: 03-3221-3405  
メール: info@chiyoda-ces.jp

